

令和7年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 第1回入退院時連携推進部会を開催しました

- 7月1日(火)に、第1回入退院時連携推進部会を開催しました。参加者は、部会メンバー8人、上越地域在宅医療推進センター1人、事務局4人でした。
- 令和6年度の振り返りを行い、令和7年度の取り組み方針について、意見交換を行いました。



【令和6年度の振り返り】

- 令和7年2月12日に開催した「医療と介護の連携に関する研修会」の事後アンケートにおいて、参加者全員が医療側・介護側の双方の役割を理解できたと回答していた。また、9割以上のかたが、今後も定期的に医療側と介護側の相互理解のための研修や意見交換の場が必要と回答していた。
- 令和7年3月18日に行われた部会長・副部会長会議において、医療側と在宅側が相互理解し、必要な情報共有等を行うため、部会として、定期的な意見交換を開催するよう、体制(方法・時期・時間・周知等)について、具体的に検討することを確認した。

【令和7年度の実行方針について(研修の体制づくりを検討)】

- 業務形態の都合もあり、2月に行った研修会は、医療側の参加者が少なかった。病院で研修を開催すれば、医療側も参加しやす

いため、病院で開催する研修の体制づくりについて意見交換を行った。

○部会内での意見交換

- ・病院で開催される医療・介護連携の研修にケアマネジャーが参加できるのは大変意義がある。
- ・医療・介護連携が次に進むような内容がいい。
- ・日々の看護が退院後も継続していくことが分かる内容がいい。
- ・在宅側で関わっている職種のことを知らない人も多いため、理解できれば退院前カンファレンスの内容が充実したものになる。
- ・病院はクリニカルラダーをもとに研修が組まれているため、研修計画を確認したうえで、研修時期等を検討したほうがよい。
- ・退院支援が円滑にできたケースなどの事例検討ができるとうい(訪問リハビリや訪問看護を利用している事例など)。
- ・研修の目的、内容などを明確にしたうえで、病院開催に向けた準備を行ってほしい。
- ・2部構成にして、病院と在宅の実情を踏まえたうえで、意見交換を行うのがよい。
- ・今後も、研修体制について改善策を検討しながら定期的に開催できるとよい。

【今後の取組内容】

- ・医療機関で開催する研修に向けた準備や次期(令和8～10年度)に向けた課題の確認、研修会及び3年間の取組の振り返りを行う。

【次回について】

- ・令和7年8月下旬～9月頃に開催予定。